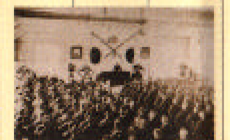
鉱山学部の歩み

秋田鉱山専門学校創立当時の校舎全景

初代校長 小花冬吉


開校式

鉱山機械学科新築校舎

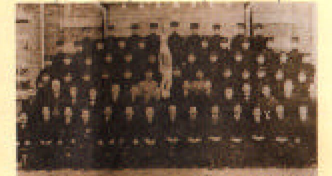
燃料学科実験室

学部全景（昭和38年当時）

学部全景（昭和52年当時）

- 明治43年 秋田鉱山専門学校
  - 採鉱学科
  - 冶金学科
- 明治43年 列品室設立
- 昭和4年 鉱山機械学科
- 昭和4年 燃料学科
- 昭和14年 電気科
- 昭和14年 金属工業科
- 昭和16年 列品室焼失
- 昭和17年 採油科
- 昭和19年 採鉱科
- 昭和22年 通信教育部
- 昭和23年 秋田鉱山専門学校附属地下資源開発研究所
- 昭和24年 鉱山学部
  - 鉱山学科
  - 冶金燃料学科
  - 鉱山電機学科
- 昭和24年 通信教育課
- 昭和25年 附属地下資源研究施設
- 昭和26年 鉱山博物館
- 昭和28年 通信教育室
- 昭和29年 鉱山学専攻科
- 昭和30年 冶金学科
- 昭和30年 燃料化学科
- 昭和34年 鉱山機械学科
- 昭和34年 鉱山電気学科
- 昭和35年 採鉱学科
- 昭和35年 鉱山地質学科
- 昭和36年 鉱業博物館
- 昭和39年 機械工学科
- 昭和39年 電気工学科
- 昭和39年 通信教育講座
- 昭和40年 附属鉱業博物館
- 昭和40年 大学院鉱山学研究科修士課程
- 昭和41年 鉱山土木学科
- 昭和42年 金属材料学科
- 昭和45年 土木工学科
- 昭和48年 電子工学科
- 昭和52年 生産機械工学科
- 昭和56年 資源化学工学科
- 昭和61年 附属資源地学研究施設
- 平成2年 資源・素材工学科
- 平成2年 物質工学科
- 平成2年 情報工学科
- 平成3年 機械工学科
- 平成3年 電気電子工学科
- 平成3年 土木環境工学科
- 平成6年 大学院鉱山学研究科博士課程
- 平成7年 通信教育講座コース制
- 平成8年 附属素材資源システム研究施設
- 平成10年 工学資源学部
  - 地球資源学科
  - 環境物質工学科
  - 材料工学科
  - 情報工学科
  - 機械工学科
  - 電気電子工学科
  - 土木環境工学科
  - 通信教育講座コース制
  - 附属鉱業博物館
  - 附属素材資源システム研究施設

鉱山学部の主なできごと


第一回卒業式

昭和初期の秋田市路面電車

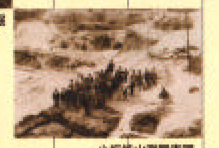
北光会館

秋田大学教育文化学部・工学資源学部設置記念祝賀会

工学資源学部設置記念祝賀会

黒川油田大噴油

最盛期の小坂鉱山


小坂鉱山測量実習

男鹿市北浦の鹿渡港を襲う津波第一波

盛土の崩壊による道路被害

年号	西暦	鉱山学部の主なできごと	秋田県・秋田市の主なできごと	国内・その他の主なできごと
明治43	1910	●秋田鉱山専門学校（採鉱学科、冶金学科）創立	●土崎に日石秋田製油所操業	
44	1911	●秋田鉱山専門学校第一回入学式挙行		
45／大正1	1912	●校友会誌「北光」第一号発行 ●寄宿舎開寮式挙行（53名）		
2	1913	●開校式挙行		
3	1914	●第一回卒業式	●黒川油田日産200klの日本新記録 ●強首地震	●東京駅完成 ●第一次世界大戦に参戦
4	1915		●秋田中学優勝 第一回全国中学野球大会	●水力発電時代幕開け
5	1916			
6	1917			
7	1918			
8	1919			
9	1920	●校歌「天与の富」完成 ●開校10周年記念式典挙行、附属鉱手養成部設置		
10	1921			
11	1922		●秋田市路面電車一部開通	
12	1923		●生保内線開通	●関東大震災
13	1924	●講堂完成・開始式	●羽越・横黒線全線開通	
14	1925	●創立15周年記念鉱業研究資料展覧会開催	●小坂鉱山煙害補償争議発生	●ラジオ放送はじまる
15／昭和1	1926			●大正天皇逝去・昭和時代幕開け
2	1927		●男子師範学校焼失	
3	1928			
4	1929	●鉱山機械学科・燃料学科設置	●探査実験（東京帝国大学による）黒川油田で日本初めての物探	
5	1930	●小花初代校長胸像の建立	●五能線県内開通	
6	1931	●開校20周年記念式典挙行	●秋田市路面電車全線開通 ●阿仁鉱山休山	●満州事変勃発
7	1932		●NHK秋田放送局放送開始	
8	1933			●日本国際連盟脱退
9	1934		●平田篤胤墓所史跡指定	
10	1935		●雄物川油田四号井大噴油	
11	1936		●尾去沢鉱山鉱さいダム決壊 ●阿仁合線開通	●二・二六事件おこる
12	1937	●臨時工業技術員養成科設置		●日中全面戦争へ
13	1938	●臨時工業技術員養成科廃止	●東北肥料秋田に創立 ●矢島線開通 ●東北パルプ秋田工場創立	●国家総動員法公布
14	1939	●電気科、金属工業科設置 ●機械技術員養成科設置	●秋田港開港指定 ●男鹿地震 ●船川製油所操業開始（一九〇八） ●小坂元山露天掘着手	●第二次世界大戦勃発
15	1940		●荒川鉱山休山	
16	1941	●煉瓦建別館（地質鉱物列品室）全焼	●八橋総合運動場完成	●真珠湾攻撃・太平洋戦争始まる
17	1942	●採油科設置		
18	1943		●帝国石油秋田鉱山学校創設	●学徒出陣
19	1944	●文部省科学研究補助技術員養成科設置 ●採鉱科設置 ●臨時工業技術員養成電気通信科設置	●小坂・尾去沢・花岡鉱山に配置 中国・朝鮮人九五〇〇人余 ●花岡鉱山で落盤事故	●勤労動員本格化
20	1945	●米進駐軍校舎接収 ●鉱山機械科校舎全焼	●土崎空襲、秋田市に米軍進駐 ●花岡鉱山で花岡事件	●玉音放送 ●広島・長崎原爆投下 ●東京大空襲
21	1946			
22	1947	●通信教育部設置 ●秋田鉱山大学建設期成会発足・陳情開始		●日本国憲法施行 ●六・三制スタート ●教育基本法・学校教育法公布
23	1948	●秋田鉱山大学申請却下 ●通信教育部電気学科開講 ●附属地下資源開発研究所設置 ●通信教育部採鉱学科、冶金学科開講	●帝国石油で80人解雇	
24	1949	●秋田大学第一回入学式挙行 ●通信教育課設置（部廃止） ●通信教育講座設置（改称） ●鉱山学科、冶金燃料学科、鉱山電機学科設置 ●秋田大学（学芸学部、鉱山学部）設置	●能代市大火	●日本人初のノーベル賞受賞 理論物理学の湯川秀樹
25	1950	●第40回開校記念式典挙行 ●通信教育学内スクーリング開始 ●鉱山専門学校小花初代校長胸像再建 ●附属地下資源研究施設設置	●秋田県営競馬の始まり	●朝鮮戦争勃発
26	1951	●鉱山博物館開館 ●鉱山専門学校最終卒業式	●秋田県千秋公園指定	●対日講和条約 ●日米安保条約調印
27	1952	●鉱山博物館「博物館相当施設」指定	●道川沖で海底油田試掘に成功	
28	1953	●通信教育学外スクーリング開始 ●北光会誌復刊第1号発行 ●通信教育室設置（課廃止） ●秋田大学第一回卒業式挙行	●三菱秋田製錬所操業開始 ●ラジオ東北（秋田放送）開局 ●阿仁鉱山休山 ●NHKテレビ本放送開始	●三井鉱山労働争議
29	1954	●鉱山学専攻科設置	●周辺7ヶ町村、秋田市に合併 ●県立中央病院開業	●自衛隊発足 ●第五福竜丸被爆
30	1955	●入学試験東京試験場復活決定 ●冶金学科・燃料化学科設置（分離増設）	●道川海岸でロケット実験成功 ●相内鉱山黒鉱床発見	
31	1956		●大館大火 ●相内鉱山大黒鉱床発見 ●能代大火	●日本、国際連合加盟
32	1957	●鉱山学部創立50周年記念会設立	●秋田県黒鉱発見（相内鉱山弁天鉱床） ●北鹿地域で戦後初の ●鎧畑ダム完成 ●県庁焼失	●打ち上げ成功 ソ連、人工衛星第一号
33	1958		●藤里村の古河・太良鉱山閉山 ●由利原油田「石油丸」進水 ●秋田城跡発掘	●安保反対運動 ●油・ガス初産 新潟県グリーン・タフから
34	1959	●鉱山機械学科、鉱山電気学科設置（分離増設）	●新県庁落成 ●「黒鉱ブーム」始まり ●小坂内の岱鉱床発見	●マイカー時代突入 高度成長期始まり、 ●皇太子ご成婚
35	1960	●採鉱学科、鉱山地質学科設置（分離増設）	●秋大生石炭反対千人デモ ●秋田放送テレビ本放送開始	●全学連国会突入で激突 ●三池争議
36	1961	●創立50周年記念式典挙行 ●鉱業博物館完成・昭和天皇皇后両陛下行幸啓 ●鉱山機械工学科棟（2号館）完成	●八郎潟油田・ガス田発見始まる ●県民会館落成 ●国体本県で開催 ●秋田空港開港 ●秋田民俗芸能大会	●安保阻止統一行動
37	1962	●通信教育15周年記念式典挙行		
38	1963		●発見 日本最大の黒鉱・北鹿松峰鉱山	●三井・三川鉱炭塵爆発
39	1964	●通信教育講座設置（学科を講座に名称変更）国費による新教科書発行 ●機械工学科、電気工学科設置（名称変更） ●鉱山地質学科棟（2号館）完成	●八郎潟干陸式、大潟村誕生 ●秋田港一万t岸壁完成 ●秋田高専開校	●東海道新幹線開業 ●東京オリンピック開幕 ●新潟地震
40	1965	●財団法人社会通信教育協会加盟 ●附属鉱業博物館設置（省令化） ●鉱山学研究科修士課程設置・鉱山学専攻科廃止 ●寄宿舎（新北光寮）完成	●秋田市路面電車廃止 ●仙北郡宮田又鉱山閉山	●北炭夕張鉱・山野鉱業ガス爆発
41	1966	●鉱山土木学科設置 ●採鉱学科棟（2号館）完成	●田沢湖線開通 ●県営素波里ダム完成 ●尾去沢製錬所閉鎖（77年の歴史） ●秋田新産都市決定	●営業運転開始 岩手八幡平・松川地熱発電所
42	1967	●金属材料学科設置	●日石秋田製油所閉鎖 ●田沢湖有料道路開通 ●県立美術館、平野美術館開館	
43	1968	●冶金学科・金属材料学科棟（3号館）完成 ●電気工学科・鉱山土木学科・管理棟（1号館）完成	●南秋田郡昭和に新油田層発見	●国際反戦デー新宿デモ
44	1969	●燃料化学科棟（4号館）完成 ●学園紛争（機動隊封鎖解除）	●秋田テレビ放送開始 ●秋田県農業博覧会 ●深沢鉱山黒鉱床発見 ●八郎潟干拓工事完了式 ●県脳研センター診療開始	●赤軍派53人逮捕 ●アポロ月着陸 ●東大安田講堂封鎖
45	1970	●土木工学専攻設置 ●土木工学科設置（名称変更）	●駒ヶ岳の火山38年ぶり活動 ●秋田北港開港 ●秋大医学部新設決定	●大阪万博
46	1971	●創立60周年記念式典挙行 ●金属材料学専攻設置	●秋大医学部附属病院設置（県立中央病院移管）	●沖縄返還協定調印
47	1972	●通信教育室廃止（係制組織替）	●羽越線電化完成	●日中国交回復 ●日本列島改造論 ●札幌オリンピック開幕 ●連合赤軍浅間山荘事件
48	1973	●附属地下資源研究施設棟完成 ●電子工学科設置	●大森山動物園開園	●第一次石油危機、省エネ時代に
49	1974		●運転開始 八幡平・大沼地熱発電所 ●県立博物館開館 ●鳥海山153年ぶり活動 ●秋田市117cm大雪	
50	1975	●電子工学科棟（1号館）完成	●釈迦内黒鉱鉱床発見 ●奥羽線全線電化完成 ●仙岩トンネル貫通	●ベトナム戦争終結
51	1976		●秋大医学部初の卒業生	
52	1977	●通信教育30周年記念式典挙行 ●電子工学専攻設置 ●生産機械工学科設置	●大館市釈迦内山黒鉱鉱床発見 ●松木鉱山閉山	●原水禁世界大会 ●有珠山噴火
53	1978	●生産機械工学科棟（2号館）完成	●天然ガスを初産 秋田県グリーンタフから（由利原油田・ガス田新潟…） ●尾去沢鉱山閉山 ●ナマハゲ重要無形民俗文化財指定	●宮城県沖地震
54	1979	●附属地下資源研究施設（時限付）改組	●竿燈、重要無形民俗文化財指定 ●秋田市人口28万人突破 ●田沢湖線電化着手	●共通一次スタート ●第二次石油危機
55	1980		●西馬内盆踊り、重要無形民俗文化財指定 ●大館曲げわっぱ「伝統工芸品」指定	●日本車生産台数世界一に
56	1981	●生産機械工学専攻設置 ●資源化学工学科設置	●石炭資源調査 秋田県・森吉町周辺で ●新秋田空港開港	●金鉱脈 鹿児島県北薩・串木野地域で ●日立鉱山閉山 ●北炭夕張新鉱火災で閉山
57	1982	●姉妹大学提携調印（米国モンタナ鉱物理工科大学）	●田沢湖線電化開業 ●東北新幹線開業「田沢湖線と接続」 ●「マインランド尾去沢」営業開始	●三宅島大噴火
58	1983	●資源化学工学科棟（4号館）完成	●重要無形民俗文化財指定 刈和野の大綱引き、 ●日本海中部地震	
59	1984	●姉妹大学提携調印（中国中南鉱冶学院） ●姉妹大学提携調印（中国阜新鉱業学院）	●4市町に天然ガス供給開始 ●石油資源開発が本荘市等 ●湯川鉱山で黒鉱鉱床発見 ●佐竹氏、市へ千秋公園寄贈 ●県立中央公園完成	
60	1985	●資源化学工学専攻設置	●FM秋田開局 ●小坂鉄道花岡線廃止	●エイズ流行 ●筑波科学万博 ●東北新幹線上野乗り入れ
61	1986	●創立75周年記念式典挙行 ●北光会館廃止 ●学生臨時増募（41人）開始 ●附属資源地学研究施設（時限付）設置 ●附属地下資源研究施設廃止	●花輪鉱山80年の歴史に幕	●大島三原山大噴火
62	1987		●大館釈迦内鉱山閉山	●国鉄解体JRへ
63	1988		●秋田市人口30万人突破	●本州・北海道青函トンネル開業
64／平成1	1989		●天然ガス鉱床発見 東由利町で県内最大	●天安門事件発生 ●消費税スタート
2	1990	●情報工学科設置（改組再編） ●資源・素材工学科、物質工学科、	●玉川ダム完成	●ベルリンの壁崩壊、ドイツ統一 ●湾岸戦争突入
3	1991	●土木環境工学科設置（改組再編） ●機械工学科、電気電子工学科、	●第一回素材物性学国際会議開催 ●台風19号直撃 ●オープン 金属鉱業研修技術センター	●雲仙普賢岳噴火
4	1992		●北都銀行発足決定（羽後・あけぼの銀行合併） ●秋田朝日放送、放送開始 ●由利町で国内最大量の原油産出	●三井石炭鉱業芦別鉱業所閉山
5	1993	●情報工学科棟（5号館）完成	●白神山地世界遺産登録 ●県立図書館・公文書館開館 ●秋大地域共同研究センター設置	●北海道南西沖地震
6	1994	●鉱山学研究科博士課程（区分制）設置	●セリオンオープン ●深沢・松峰・餌川鉱山閉山 ●営業運転開始 湯沢市上の岱地熱発電所	
7	1995	●通信教育講座コース制開講（課程制廃止） ●電気電子工学科3年次編入学定員設定	●東鉛発電生産中止決定 ●三菱マテリアル秋田製錬所、営業運転開始 ●八幡平・澄川地熱発電所	●阪神大震災
8	1996	●附属素材資源システム研究施設（時限付）設置 ●附属資源地学研究施設廃止	●石油・天然ガス試掘に成功 県と石油資源開発、由利町で	
9	1997	●通信教育50周年記念式典挙行 ●機械工学科3年次編入学定員設定	●秋田自動車道全線開通 ●ジャパンエナジー船川製油所、 ●澄川温泉地すべり発生 ●秋田新幹線開業	●124年の歴史に幕 三井石炭鉱業三池鉱業所
10	1998	●工学資源学部設置記念式典挙行 ●工学資源学部設置（鉱山学部改組再編）	●秋大教育文化学部設置（教育学部改組再編）	●長野オリンピック開幕
11	1999			
12	2000			
13	2001			

この年表の実物（高さ1.5m、幅6m）は鉱業博物館に常設されています。